

宮城広瀬高校便り

ちから もり

力は杜に ～冬号～

令和6年2月9日発行
宮城県宮城広瀬高等学校
仙台市青葉区落合4丁目4-1
TEL:022-392-5512
FAX:022-392-5513

今年は暖冬となるという予報どおり12月になっても20℃近くまで気温が上がる日もありました。一方、冬休み前には寒波に見舞われ、防寒着着用の終業式となりました。冬は学校行事の少ない季節ですが、年度末に向けての学校の様子をお伝えします。

～修学旅行～

2学年は、12月9日（土）から3泊4日の日程で、関西方面に修学旅行へ行きました。新型コロナウイルス感染症は落ち着いていたのですが、インフルエンザが流行していました。出発直前には他学年で学年閉鎖や学級閉鎖が行われる中、2学年は概ね健康な状態を維持し、修学旅行当日を迎えました。



初日は2隊に分かれて出発です。A隊は仙台空港に朝6時10分というとても早い時間に集合でしたが、飛行機に乗り遅れる生徒もなく無事に全員出発しました。A隊は奈良市内を観光、B隊は大阪市内を観光し京都のホテルで合流しました。

2日目は京都市内の班別自主研修、3日目はユニバーサルスタジオジャパンを見学しました。最終日は再び2隊に分かれ、A隊が大阪市内を観光、B隊が奈良市内を観光し、それぞれ帰路につきました。全国的に天候が荒れ模様だった影響もあり、B隊の飛行機は40分遅れの到着でした。自宅についたのは深夜だったという生徒も多かったことでしょう。



昨年は新型コロナウイルス感染症の第8波と重なってしまい、行程を変更せざるを得なくなりました。今年はインフルエンザで体調を崩す生徒が数名出たものの大きなトラブルもなく旅行を終えることができました。多くの生徒たちにとって、200名を超える大人数で旅行に行く事はこれが最後かもしれません。まさに高校生活最大のイベントといえるでしょう。普段の学校生活だけでは決して体験することのない「非日常」を味わい、大いに見聞が広がったのではないかと思います。

～文化部の活躍～

寒さが厳しくなり、運動部はオフシーズンというところが多いのですが、文化部は冬でも盛んに活躍しています。茶華道部は、小原流学生いけばな競技会北海道・東北地区大会で団体3位、個人で審査員特別賞を受賞しました。また、放送部は第27回東北高等学校放送コンテストのラジオキャンペーン部門で優良賞を獲得しました。これは全体で4位に相当する立派な活躍です。宮城広瀬高校では運動部も文化部も盛んに活動しています。

～賞状伝達式・2学期修業式～

1月22日は令和5年の最後の登校日でした。体育館に全校生徒が集まり集会を行いました。賞状伝達式では、茶華道部・放送部・奉仕活動部・書道部・弓道部の表彰を行いました。



引き続き終業式が行われました。千葉校長からは2学期の行事を振り返り生徒の活躍を称えながら、「今年一年間どう成長したか振り返ること」「しっかりと振り返ることで課題が明確になり成長する」「信頼、命、学力を失わないことを心がけて楽しくメリハリのある冬休みを過ごすこと」というお話をいただきました。

～学年PTA行事～

1月18日(木)には3学年で、翌週25日(木)には2学年で、学年PTA行事として株式会社トリプルイーによるパフォーマンスを鑑賞しました。この会社には本校の卒業生が所属しています。昨年に引き続き母校で演技を披露していただきました。

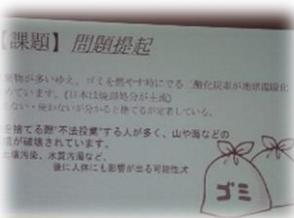


1学年では2月1日(木)に東北電力フロンティアの方を講師にお招きし、キャンプ体験を行いました。生徒は5人一組を基本として、ロープ結びや火おこしなどのアウトドア活動の体験を行いました。強風のため屋外での活動はできませんでしたが、皆で協力して課題をクリアしていく貴重な体験となりました。



～総合的な探究の時間～

2学年の総合的な探究の時間ではSDGsの17のゴールと169のターゲットについて学んでいます。社会には解決しなければならない課題がたくさんあります。それぞれの生徒が興味を持った社会課題について考察を深め、解決に向けてどのような取り組みができるのかまとめました。



1月30日には代表として選ばれた班が体育館で学年発表を行いました。「フードロス減らすには」「子供への暴力を防ごう」などの現代社会の諸問題について、調べたことや考えたことを分かりやすく発表していました。今回の発表で学んだことをさらに深め、学びの成果として授業や進路決定に生かしていきます。

～地域との連携～

1月20日(土)には、落合市民センターを会場に「教えて高校生!おしえて!バドミントン」が行われました。本校の男女バドミントン部員が講師役となり、バドミントンを通じて地域の小学生と交流するイベントです。昨年から始まったイベントですが、地域の子供たちには高い人気があります。また2月3日(土)には、新企画の「おしえて高校生!ニュースポーツ」と称した、輪投げやターゲットリングといった競技に挑戦しました。これらは本校の部活動にはない種目であり、ボランティアの本校生も一緒になって楽しんでいました。

小学生に分かりやすくスポーツの指導をするには粘り強さや工夫が必要です。初心者から経験者まで多様な小学生に分かりやすく教えようとする生徒の姿は、普段の学校生活では目にしない貴重なものでした。地域の皆様にはこのような経験の場をいただき、心より感謝申し上げます。